

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2012年9月10日～9月14日)

発表日: 2012年9月7日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(9月10日～9月14日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
9月10日 (月)	8:50 4-6月期 GDP2次速報				
	実質 GDP 成長率 (前期比)	+0.2%	+0.3%	+0.2%～+0.4%	+0.3%
	(同年率)	+0.8%	+1.0%	+0.7%～+1.7%	+1.4%
	名目 GDP 成長率 (前期比)	▲0.2%	▲0.2%	▲0.3%～0.0%	▲0.1%
	GDP デフレーター (前年比)	▲1.1%	▲1.1%	▲1.1%～▲0.5%	▲1.1%
	8:50 7月国際収支 経常黒字(前年比)	▲43.9%	▲55.4%	▲75.3%～▲36.5%	▲19.6%
	(原数値)	5,913 億円	4,711 億円	2,600～7,350 億円	4,333 億円
	8:50 8月貸出・資金吸収動向				
	国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	+1.0%
	13:30 7月特定サービス産業動態統計				
14:00 8月消費動向調査					
消費者態度指数(一般世帯、季調値)	—	—	—	39.7	
15:00 8月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI	—	—	—	44.2	
先行き判断 DI	—	—	—	44.9	
9月11日 (火)	8:50 7-9月期法人企業景気予測調査				
	景況判断BSI 大企業製造業	—	—	—	▲5.7
	全産業	—	—	—	▲3.1
	8:50 8月マネーストック M2(前年比)	+2.3%	+2.3%	+2.0%～+2.3%	+2.2%
M3(前年比)	+2.0%	+2.0%	+1.8%～+2.0%	+1.9%	
広義流動性(前年比)	+0.2%	+0.2%	+0.1%～+0.5%	+0.1%	
9月12日 (水)	8:50 7月機械受注 船電除く民需 (前月比)	+1.5%	+1.8%	▲0.7%～+5.2%	+5.6%
	(前年比)	▲6.1%	▲3.6%	▲7.7%～+6.2%	▲9.9%
	8:50 8月企業物価指数 (前月比)	+0.1%	+0.1%	▲0.2%～+0.7%	▲0.4%
	(前年比)	▲1.9%	▲1.9%	▲2.2%～▲1.3%	▲2.1%
	8:50 7月第3次産業活動指数 (前月比)	▲0.6%	▲0.5%	▲1.8%～▲0.3%	+0.1%
(前年比)	+0.9%	—	—	+0.8%	
9月13日 (木)	13:30 7月商業販売統計・確報				
	小売業販売額(前年比)	—	—	—	▲0.8%
9月14日 (金)	13:30 7月鉱工業生産指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	▲1.2%
	(前年比)	—	—	—	▲1.0%
	稼働率指数 (前月比)	—	—	—	▲2.3%
	生産能力指数 (前年比)	—	—	—	▲1.3%
	9月月例経済報告				

(注) 市場予測はBloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

4-6月期GDP2次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率 +0.8% 中央値：同 +1.0%

前期比年率+0.8% (前期比+0.2%) と、1次速報段階の前期比年率+1.4% (前期比+0.3%) から下方修正されると予想する。公共投資は上方修正が見込まれるが、法人企業統計の結果を受けて設備投資と在庫投資の下方修正が見込まれ、GDP全体では若干の下方修正になるとみられる。

(主席エコノミスト：新家 義貴)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月国際収支・経常収支（原数値） 当社予想：5,913億円 中央値：4,711億円

7月の経常収支（原数値）は前年比▲43.9%、5,913億円の黒字を予測する。季節調整値でみると、貿易赤字の継続を主因に引き続き低水準の黒字となる見込みだ。先行きは、所得収支は金利の低下が懸念されるものの引き続き高水準の黒字を維持するものとみられる。一方、貿易収支は海外経済（特に中国）の足取りの鈍さを背景に輸出は回復感に欠ける動きが予想されるため、赤字基調が続こう。総じて、経常収支は当面は低水準での推移が続く可能性が高い。

（エコノミスト：大塚 崇広）

8月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比 ▲1.9% 中央値：同 ▲1.9%

8月の国内企業物価は前月比+0.1%、前年比▲1.9%を見込む。国際商品市況の上昇を背景に4ヶ月ぶりの前月比プラスとなろう。足元までの国際商品市況は、中国を中心とした世界経済の足取りの鈍さを背景に非鉄金属などで弱さが目立つものの、シリア情勢の緊迫化や異常気象を背景に原油や穀物が上昇している。先行きについては、世界的な金融緩和期待の高まりが押し上げ要因となる一方、世界経済の先行き不透明感が重石となるであろう。国内要因をみても、エコカー補助金終了などに伴い国内景気は減速するとみられ、総じて国内企業物価の力強い上昇は見込み難い状況にある。

（エコノミスト：大塚 崇広）

7月第3次産業活動指数 当社予想：前月比 ▲0.6% 中央値：同 ▲0.5%

7月の第3次産業活動指数は前月比▲0.6%を予想する。既発表の関連統計から判断すると、卸売・小売業は前月比でマイナス寄与となる見込みだ。第3次産業活動指数はこれまで復興関連の公共投資やエコカー補助金制度などを背景とした内需の底堅さに支えられてきた。ただし、先行きについては、エコカー補助金制度の終了や海外経済の足取りの鈍さ、雇用や賃金の伸び悩みなど不安材料が多く、第3次産業活動指数は若干の弱含みで推移する可能性が高い。

（エコノミスト：大塚 崇広）

以上

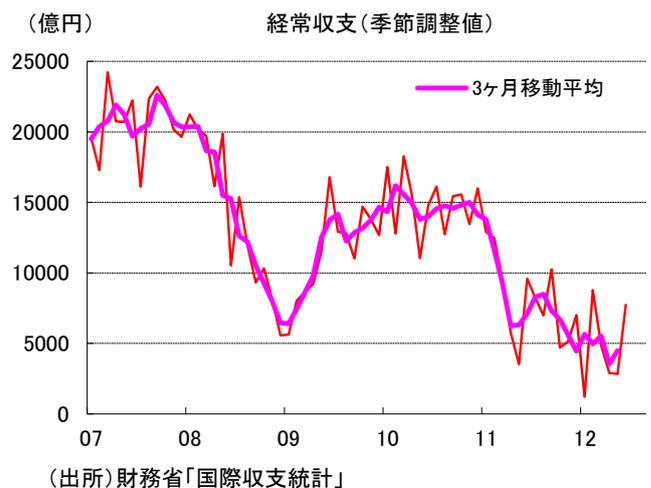
図表 1

2012年4-6月期GDP2次速報予測

2012年4-6月期GDP2次速報予測 (%)		1次速報実績 (%)	
実質GDP	0.2	0.3	
(前期比年率)	0.8	1.4	
内需寄与度	0.3	0.4	
(うち民需)	0.1	0.3	
(うち公需)	0.2	0.2	
外需寄与度	▲0.1	▲0.1	
民間最終消費支出	0.1	0.1	
民間住宅	0.8	0.8	
民間企業設備	0.8	1.5	
民間在庫品増加(寄与度)	▲0.1	0.0	
政府最終消費支出	0.3	0.3	
公的固定資本形成	2.4	1.7	
財貨・サービスの輸出	1.2	1.2	
財貨・サービスの輸入	1.6	1.6	
名目GDP	▲0.2	▲0.1	
(前期比年率)	▲1.2	▲0.6	

図表 2

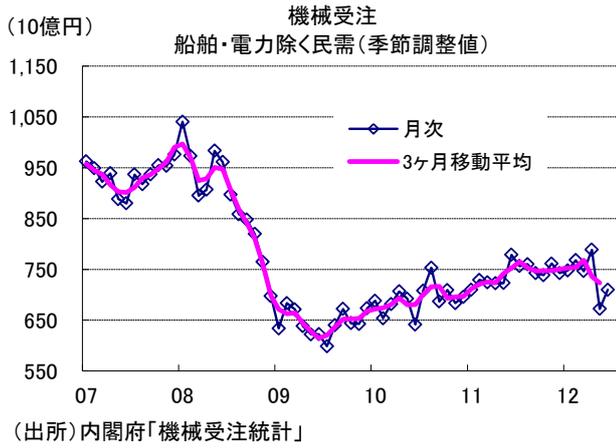
経常収支(季節調整値)



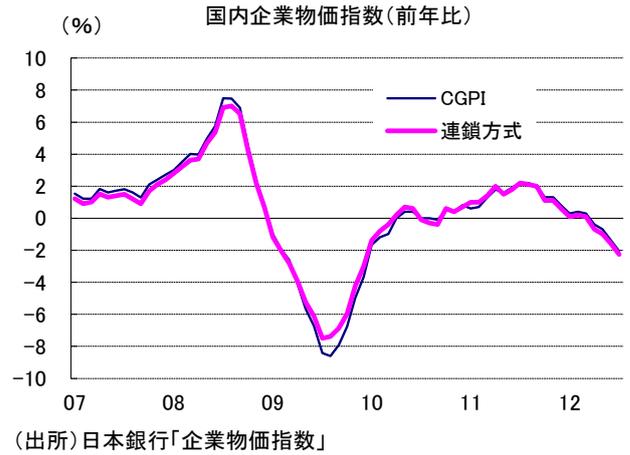
※断りの無い場合、前期比(%)
(出所)内閣府「国民経済計算」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

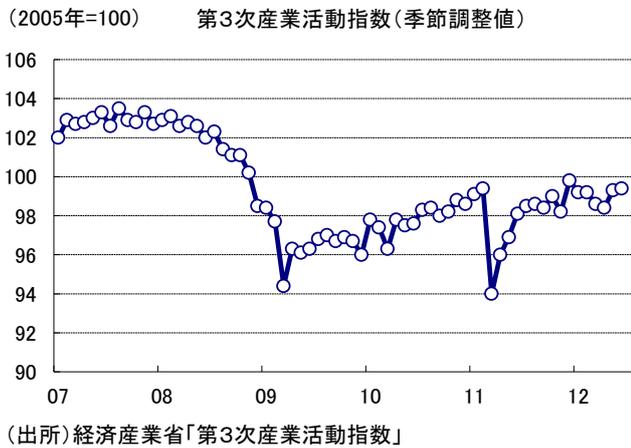
図表 3



図表 4



図表 5



9月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9/3 4-6月期法人企業統計(8:50) 8月軽自動車販売(14:00) 8月自動車販売(14:15) (欧・独・仏・英)8月製造業PMI(確)	4 8月マネタリーベース(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 10年利付国債 (米)8月ISM製造業景気指数 (米)7月建設支出 (欧)7月生産者物価 (豪州)金融政策委員会	5 宮尾日銀審議委員挨拶 (米)8月自動車販売台数 (欧・独・仏・英)8月サービス業PMI(確) (欧)7月小売売上高 (豪州)4-6月期GDP (タイ)金融政策委員会	6 7月家計消費状況調査(14:00) 白川日銀総裁講演 30年利付国債 (米)8月ISM非製造業景気指数 (欧)ECB理事会 (欧)4-6月期GDP(確) (独)7月製造業受注 (英)BOE金融政策決定会合 (韓国)4-6月期GDP(確) (マレーシア)金融政策委員会	7 7月景気動向指数(14:00) (米)8月雇用統計 (独)7月鉱工業生産 (独)7月貿易収支 (独)7月経常収支 (仏)7月貿易収支 (英)7月鉱工業生産 (メキシコ)金融政策委員会
10 4-6月期GDP2次速報(8:50) 7月国際収支(8:50) 8月貸出・資金吸収(8:50) 7月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 8月消費動向調査(14:00) 8月景気ウォッチャー調査(15:00) (米)7月消費者信用残高 (仏)7月鉱工業生産 (トルコ)4-6月期GDP ※(ロシア)4-6月期GDP(速)	11 7-9月期法人企業景気予測調査(8:50) 8月マネーストック(8:50) 5年利付国債 (米)7月貿易収支 (英)7月貿易収支	12 7月機械受注統計(8:50) 8月企業物価(8:50) 7月第3次産業活動指数(8:50) (米)7月卸売在庫 (米)8月輸入物価 (欧)7月鉱工業生産 (独)8月消費者物価(確) (仏)7月経常収支 (英)8月失業率 (独)憲法裁判所、ESM判決 (オランダ)総選挙	13 7月商業販売統計・確(13:30) 20年利付国債 (米)FOMC (米)8月生産者物価 (欧)ECB月報 (韓)金融政策委員会 (インドネシア)金融政策委員会 (ニュージーランド)金融政策委員会	14 7月鉱工業指数・確(13:30) 9月月例経済報告 (米)8月小売売上高 (米)8月財政収支 (米)8月消費者物価 (米)7月企業在庫 (米)8月鉱工業生産 (米)9月シカゴ大消費者センチ(速) (欧)8月消費者物価(確) (欧)財務相会合
17 (米)9月NY連銀指数 (欧)7月貿易収支 (欧)7月経常収支 (インド)金融政策委員会	18 7月毎月勤労統計・確(10:30) 7月建設総合統計(14:00) ※8月全国百貨店売上高(14:30) ※平成24年基準地価(16:50) 金融政策決定会合(～19日) (米)9月NAHB住宅市場指数 (独)9月ZEW景況指数 (英)8月消費者物価 (豪州)金融政策委員会議事録 (トルコ)金融政策委員会	19 7月景気動向指数改訂(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)8月住宅着工件数 (米)8月建設許可件数 (米)8月中古住宅販売件数 (欧)7月建設支出 (英)金融政策委員会議事録	20 9月ロイター短観(8:30) 8月貿易統計(8:50) 4-6月期資金循環(8:50) 7月全産業活動指数(13:30) 9月金融経済月報(14:00) 8月コンビニエンスストア統計(16:00) 白川日銀総裁挨拶 (米)9月フィラ連銀指数 (米)8月景気先行指数 (欧・独・仏)9月製造業PMI(速) (欧・独・仏)9月サービス業PMI(速) (英)8月小売売上高 (ニュージーランド)4-6月期GDP (南ア)金融政策委員会	21 ※8月チェーンストア販売統計(14:00)
24 金融政策決定会合議事要旨(8月8・9日分)(8:50) 山口日銀副総裁講演 (仏)4-6月期GDP(確) (独)9月Ifo景況感指数	25 8月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)9月消費者信頼感指数 ※(ベトナム)7-9月期GDP	26 (米)8月新築住宅販売件数 (独)9月消費者物価(速)	27 8月投入・産出物価指数(8:50) 2年利付国債 (米)4-6月期GDP(確) (米)8月耐久財受注 (欧)8月M3 (欧)9月経済信頼感 (独)9月失業率 (英)4-6月期GDP(確) (台湾)金融政策委員会	28 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 8月家計調査(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00) (米)8月個人所得・消費 (米)9月シカゴPMI (米)9月シカゴ大消費者センチ(確) (欧)9月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

10月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10/1 9月日銀短観(8:50) 9月軽自動車販売(14:00) 9月自動車販売(14:15) (米)9月ISM製造業景気指数 (米)8月建設支出 (欧)8月失業率 (欧・独・仏・英)9月製造業PMI(確)	2 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マネタリーベース(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) (欧)8月生産者物価 (豪州)金融政策委員会	3 (米)9月ISM非製造業指数 (米)9月自動車販売台数 (米)FOMC議事録 (欧・独・仏)9月サービス業PMI(確)	4 金融政策決定会合(～5日) 10年利付国債 (欧)8月小売売上高	5 8月景気動向指数(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)9月雇用統計 (米)8月消費者信用残高 (欧)ECB理事会 (独)8月製造業受注
8 (独)8月貿易収支 (独)8月経常収支	9 8月国際収支(8:50) 8月家計消費状況調査(14:00) 10月金融経済月報(14:00) 9月景気ウォッチャー調査 (英)8月貿易収支	10 8月特定サービス産業動態統計調査(13:30) (米)8月卸売在庫 (米)ページブック (仏)8月鉱工業生産 ※(フランス)金融政策委員会	11 8月機械受注統計(8:50) 9月貸出・資金吸収(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(9月18,19日分)(8:50) 9月消費動向調査(14:00) 30年利付国債 (米)9月輸入物価 (米)8月貿易収支 (米)9月財政収支 (欧)ECB月報 (独)9月消費者物価(確) (仏)9月消費者物価 (インドネシア)金融政策委員会 (韓)金融政策委員会	12 9月マネーストック(8:50) 9月企業物価(8:50) 8月第3次産業活動指数(8:50) (米)9月生産者物価 (米)10月シカゴ大消費者センチ(速) (欧)8月鉱工業生産
15 8月鉱工業指数・確(13:30) 8月商業販売統計・確(13:30) ※10月月例経済報告 (米)9月小売売上高 (米)8月企業在庫 (米)10月NY連銀指数	16 ※9月全国百貨店売上高(14:30) 5年利付国債 (米)9月鉱工業生産 (米)9月消費者物価 (米)10月NAHB住宅市場指数 (欧)9月消費者物価(確) (欧)8月貿易収支 (独)10月ZEW景況指数 (英)9月消費者物価 (豪州)金融政策委員会議事録	17 8月建設総合統計(14:00) (米)9月住宅着工件数 (米)9月建設許可件数 (欧)8月建設支出 (英)9月失業率 (英)金融政策委員会議事録 (タイ)金融政策委員会	18 8月毎月勤労統計・確(10:30) 20年利付国債 (米)10月フィラ連銀指数 (米)9月景気先行指数 (英)9月小売売上高 (中国)7-9月期GDP ※(シカゴ)7-9月期GDP(速) (トルコ)金融政策委員会	19 8月全産業活動指数(13:30) 8月景気動向指数改訂(14:00) (米)9月中古住宅販売件数 (欧)8月経常収支 ※(独)10月Ifo景況感指数
22 10月ロイター短観(8:30) 9月貿易統計(8:50) ※10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) ※9月チェーンストア販売統計(14:00) 9月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(欧・独・仏)10月製造業PMI(速) ※(欧・独・仏)10月サービス業PMI(速) (ロシア)金融政策委員会	23	24 (米)8月FHFA住宅価格指数 (米)9月新築住宅販売件数	25 9月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債 (米)FOMC (米)9月耐久財受注 (欧)9月M3 (英)7-9月期GDP(速) (フィリピン)金融政策委員会 (ニュージーランド)金融政策委員会	26 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) (米)7-9月期GDP(速) (米)9月個人所得・消費 (米)10月シカゴ大消費者センチ(確) (独)10月消費者物価(速) (メキシコ)金融政策委員会 (韓)7-9月期GDP(速)
29 9月商業販売統計(8:50) 9月投入・産出物価指数(8:50) ※(欧)10月消費者物価指数(速)	30 金融政策決定会合 9月家計調査(8:30) 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月鉱工業指数(8:50) 10月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)10月CB消費者信頼感指数 (米)8月S&Pケース・シラー住宅価格 (欧)10月経済信頼感 (インド)金融政策委員会	31 9月毎月勤労統計(10:30) 9月住宅着工統計(14:00) (米)10月シカゴPMI (欧)9月失業率 (台湾)7-9月期GDP(速) (独)10月失業率	11/1 10月軽自動車販売(14:00) 10月自動車販売(14:15) 10年利付国債 (米)10月ISM製造業指数 (米)9月建設支出 (米)10月自動車販売 (欧・独・仏)10月製造業PMI(確) (英)10月製造業PMI	2 金融政策決定会合議事要旨(10月4,5日分)(8:50) 10月マネタリーベース(8:50) 9月家計消費状況調査(14:00) (米)10月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。